

広報

# だいせん

— 予算特別号 —

## 「予算を読もう」

夢のある田園交流都市

大仙の創造を目指して

# 「予算を読む」

夢のある田園交流都市  
大仙の創造を目指して

04 予算の重み  
772億3,795万4千円の予算

06 一般会計歳入

08 一般会計歳出

11 主な事業説明

- 12 第1節 健康福祉
- 14 第2節 教 育
- 16 第3節 産業・雇用
- 18 第4節 都市基盤
- 22 第5節 安全・安心
- 24 第6節 地域情報・交流
- 25 第7節 計画の推進

26 資 料

市町村財政比率分析表

	コラム
01	予算の決め方
07	大仙市の財政力
09	市債の秘密
10	家計簿で見る予算 一人当たりの予算

【コラム1】  
予算はどうやって決まる？

## 予算の決め方

— COLUMN —

予算の決め方

予算は、1年間に入ってくるお金(歳入)と出ていくお金(歳出)の見積りです。

その使いみちは、市長が予算案を作り、市議会がそれをチェックし、審議して決まります。

年度末になるとテレビや新聞のニュース等で来年度予算の編成作業の様子が報じられますが、実際の来年度予算に向けた作業は、秋ごろから始まっています。

市役所の各部局や各課は、「こんなことをしてほしい」「こんなことで困っている」という市民の要望や意見やアイデアをまとめ、検討しながら予算要求書を作成します。

市長は、各課の考えを聞きながら、予算案を決定します。このとき、歳入が足りなければ、「何をやるか」「何からやるか」といった事業の取捨選択や優先順位を決めなければなりません。この作業を「予算査定」と言います。

査定を受けた予算案は、市民の代表者の場である市議会で審議され承認され、初めて予算が決まります。

市議会の厳しいチェックを受けた予算は、年度途中で基本的に変えることはできません。

しかし、事業を始めてみたら、最初の見込みとは違ってしまいうこともあります。また、災害などがあって、緊急にお金を使わなくてはならないこともあります。そんなときは「補正予算」を作って、最初の予算を変更します。このときも、市長が案を作り、なぜ変更したいのか、いくら変更したいのかを説明し、再び市議会で審議され決まります。



平成19年度

# 大仙市の 予算

予算書を読めば  
まちづくりの方向が  
見えてくる…

# 「予算の重み」

■一般会計	427億	8,870万円
■特別会計	323億	5,887万1千円
■企業会計	20億	9,038万3千円
計	772億	3,795万4千円

## 予算に裏つけされた市の仕事

予算とは、市の1年間の収入と支出の計画です。市の予算は、大きく分けて「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つに分かれていて、これらを取りまとめた冊子が予算書と呼ばれるものです。

一般会計は、私たちの生活全般の施策に関する会計です。これに対し、特別会計や企業会計は、特定の事業に限定した収支で経理します。予算は、市が1年間に使うお金の「単なる目安」ではありません。予算には強い拘束力があります。市は、成立した予算に従って計画どおりに

事業を行わなければなりません。つまり、予算が決まるということは、市が行う事業が決まるということです。予算書は、市の1年間の「設計書」だとも言えます。

## 市議会の議決を経て予算が成立

例えば、道路を1本作るつもりです。市は予算に従って事業を行うので、まずは道路を作るためにいくらかかるか、国や県からお金をもらえないかなどを調べ、予算案を作ります。その案を、市民の代表である市議会で説明し、議会で認められた段階で予算案が正式な予算に変わり、道路を作るができます。

大仙市の予算編成は、はじめに予算編成方針が作成され、各部局はその方針に基づき、あらかじめ配分された一般財源の範囲内で予算の積算を行います。

そして、その積算額を財政担当に要求し、その後、財政担当による査定、次に市長査定を行い、予算案として固めます。そして、この案を市長が市議会で説明し、審議されます。



◇特別会計……323億5,887万1千円

国民健康保険事業や下水道事業のように、保険料や使用料などの収入で運営していく事業については、その事業にかかるお金の流れを分かりやすくするために、一般会計とは別の会計を設けることになっています。

これを「特別会計」といい、大仙市では25の特別会計を設けています。

- 国民健康保険事業特別会計(事業勘定) 93億7,804万3千円
- 国民健康保険事業特別会計(診療所勘定) 1億5,833万円
- 国民健康保険事業特別会計(歯科診療所勘定) 6,027万6千円
- 老人保健特別会計 94億6,733万5千円
- 土地取得特別会計 1,772万2千円
- 土地地区画整理事業特別会計 19億9,692万4千円
- 学校給食事業特別会計 10億55万9千円
- 奨学資金特別会計 4,509万3千円
- 宅地造成事業特別会計 2億1,298万3千円
- 簡易水道事業特別会計 21億5,320万6千円
- 公共下水道事業特別会計 21億284万6千円
- 特定環境保全公共下水道事業特別会計 7億693万5千円
- 特定地域生活排水処理事業特別会計 5,483万9千円
- 農業集落排水事業特別会計 27億8,396万6千円
- 介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計 10億9,672万2千円
- 介護老人保健施設介護サービス事業特別会計 8億3,216万4千円
- 老人デイサービス事業特別会計 2億2,583万4千円
- スキー場事業特別会計 5,284万5千円
- 内小友財産区特別会計 46万3千円
- 大川西根財産区特別会計 29万5千円
- 大沢郷財産区特別会計 28万3千円
- 荒川財産区特別会計 298万5千円
- 峰吉川財産区特別会計 314万5千円
- 船岡財産区特別会計 228万5千円
- 淀川財産区特別会計 279万3千円

◇企業会計……20億9,038万3千円

市立大曲病院と上水道事業について独立採算性を原則とした会計(企業会計)を設けています。

- 市立大曲病院事業会計 9億5,126万4千円
- 上水道事業会計 11億3,911万9千円



A 4版で649ページにもわたる平成19年度大仙市各会計予算書1,500グラムの冊子だが、その中身は重い今年度の「まちづくりの設計書」が書かれ、これを読めば市がこの1年間どんな仕事をするかが分かる。「難しいそうだなあ…」と言わず、一緒に予算を読んでみよう。

平成19年度予算は、2月27日から3月20日まで開催された第1回市議会定例会で承認され、成立しました。

市の将来都市像である「人が活き人が集う夢のある田園交流都市」の創造を図るための予算。市民福祉の向上を目的とし、限られた財源で住民を望む確に把握した施策が実行できるよう配慮しています。これまでの前例踏襲による考え方を改め、すべての事業の見直しを行い、コストの削減や事業のスクラップアンドビルドを行いながら、今年度のまちづくりの設計書が完成しました。

# 「一般会計歳入」

平成19年度の大仙市一般会計当初予算額は427億8千870万円で、前年度に比較して16億80万円の減、率にして3・6%の減になります。歳入は大きく「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。

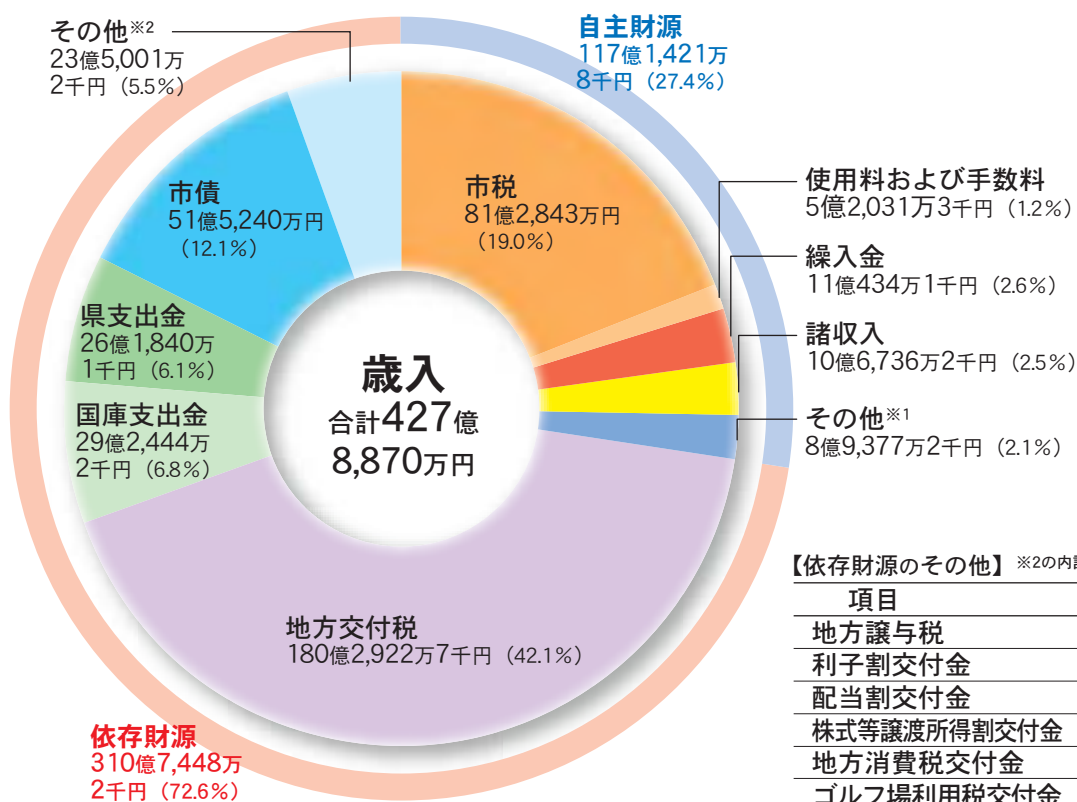
自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性を確保することができます。しかし、大仙市の自主財源は117億1,421万8千円、率にして27・4%と低い割合を示しています。

市の歳入は、地方交付税や国・県支出金、地方債などの依存財源が大部分を占めています。中でも42・1%を占める地方交付税の動向は、市の財政に大きな影響を及ぼしています。

しかし、国が進める三位一体改革による地方分権の推進は、国と地方の役割分担を見直すとともに、地方における国の関与、国庫補助負担金の

【自主財源のその他】※1の内訳

項目	予算額
分担金および負担金	3億9,408万8千円
財産収入	4,968万3千円
寄付金	1千円
繰越金	4億5,000万0千円



【依存財源のその他】※2の内訳

項目	予算額
地方譲与税	9億6,433万5千円
利子割交付金	2,842万8千円
配当割交付金	1,039万1千円
株式等譲渡所得割交付金	1,347万3千円
地方消費税交付金	9億692万3千円
ゴルフ場利用税交付金	1,799万1千円
自動車取得税交付金	3億625万3千円
地方特例交付金	7,707万0千円
交通安全対策特別交付金	2,514万8千円

## 財政用語

### 【歳入】

地方公共団体が、その仕事を行うために必要な経費を賄うものが収入で、その団体の会計年度における一切の収入を歳入といえます。

▼自主財源：市が自主的に収入することができる財源のことで、市税、使用料および手数料、諸収入などがあります。

▼市税：住民のみなさんに納めていただく税金です。

▼依存財源：地方交付税や国・県支出金など、国や県から入ってくるお金です。

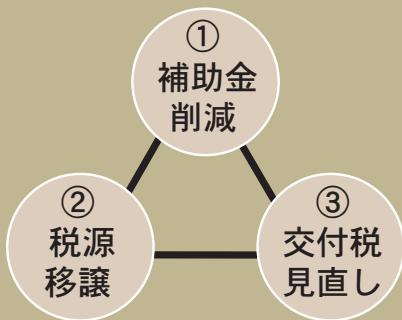
▼繰入金：積立金(基金)の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金です。

▼地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金で、普通交付税と特別交付税があります。地方交付税は、団体間の財政力の不均衡をなくし、どの住民にも一定の行政サービスが行えるよう、国税(所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税)として集められた財源のうち一定割

【コラム2】  
三位一体改革が  
及ぼす影響  
大仙市の財政力  
— COLUMN —

三位一体改革

国が掲げる改革は、①国から地方へ支出される補助金の削減②国から地方への税源移譲③地方交付税の見直しという3本柱で成り立っています。これらを同時並行的に進めるという意味で、三位一体改革と言われています。



大仙市の財政力

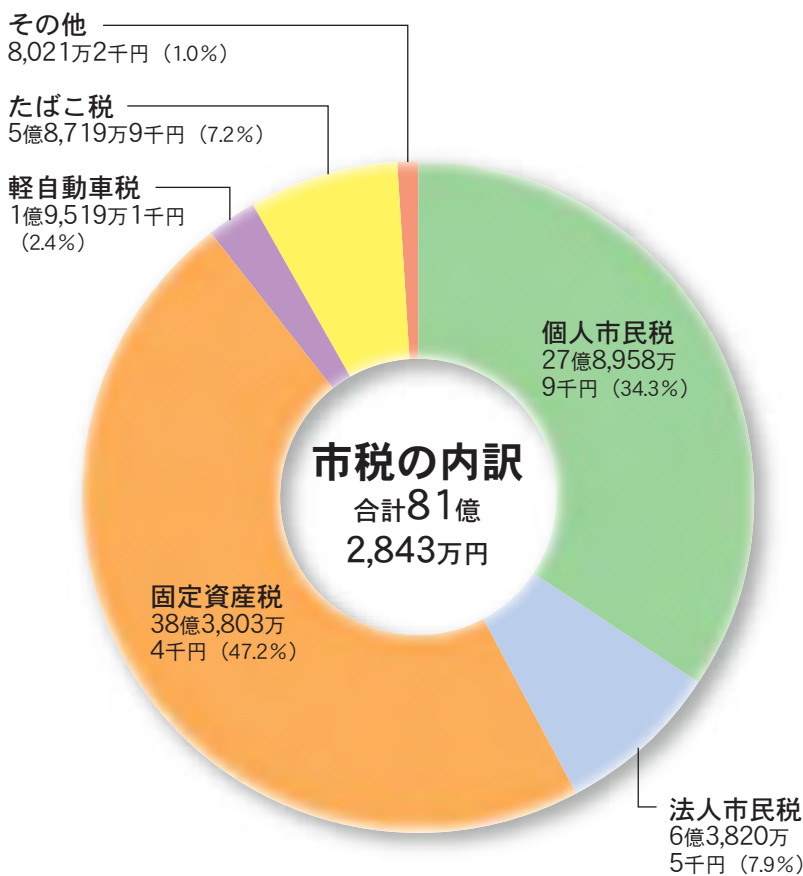
市の財政力を見るときに使用される指標に「財政力指数」があります。この数字は、「標準的な行政活動に必要な財源をどれくらい自分で調達できるか」を表します。財政力指数が高ければ高いほど財政力が強いことになり、財源を100%自力で調達できる場合はこの数字が「1」になります。

大仙市の財政力指数は0.33。秋田県市町村平均0.31、全国市町村平均0.52と県内平均を上回るものの、財政力が弱い自治体と言えます。

依存財源の割合が高い当市において、地方交付税や補助金などの動向は市の財政状況に大きな影響を及ぼします。

三位一体改革の成果を踏まえ「新分権改革」が進められようとしています。そのような地方自治体の自己決定・自己責任の強化が図られる中において、財政力を強化することが大きな課題になります。

廃止・縮小等を進めようとしています。  
今年度においては、全国の出口ベースで地方交付税が4・4%の減と見込まれることや、市税の伸びが地方財政計画に比較して低いことなどから、歳入一般財源が前年度比較で約9億7千万円の減、率にして3・0%減と見込まれ、これまでになく大変厳しい予算編成になりました。また、地方交付税への依存度が高くなる年度以降の財政状況は、今以上に厳しくなると考えられます。  
自主財源を増やす取り組みや財源の見直しなど、行財政改革が急務になっています。



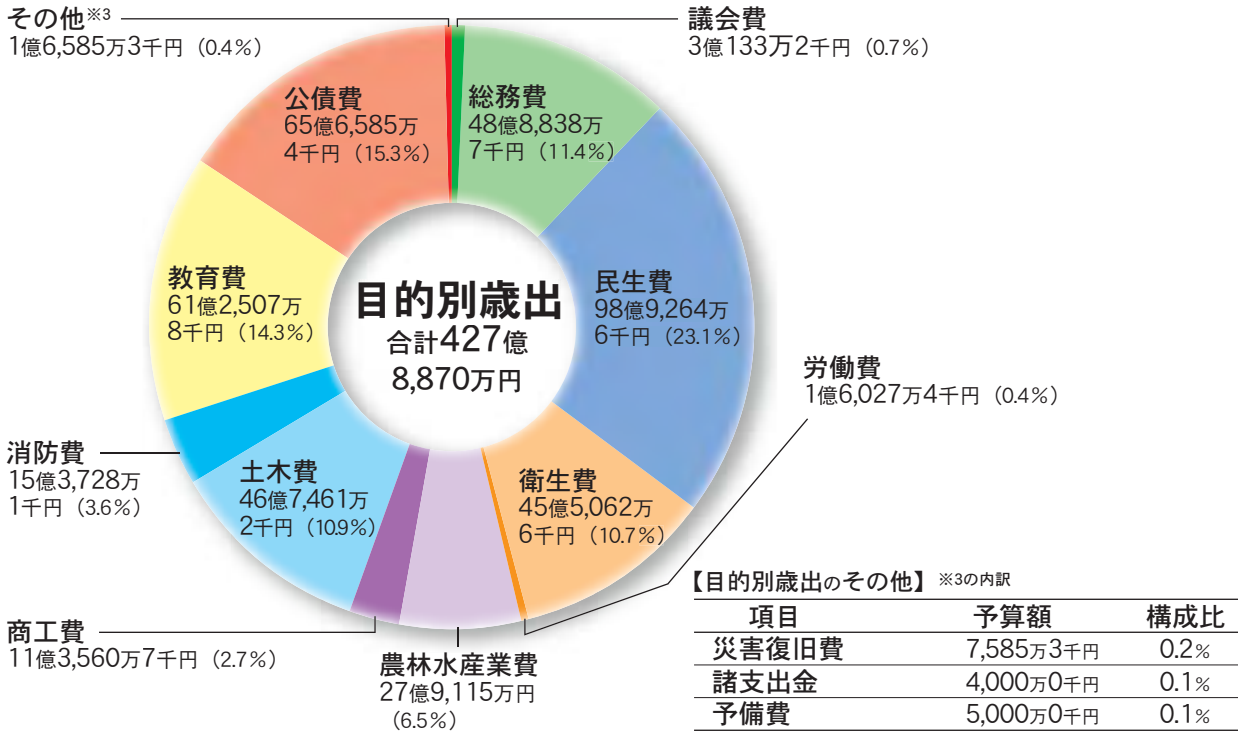
合の額を、地方公共団体に再配分するものです。  
▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して国から交付されるお金で、国庫負担金、国庫補助金、国庫委託金の3つに分類されます。  
▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されません。  
▼市債：市の借入金(借金)で償還が2年以上にわたるものです。公共施設建設のように一時的に多額の経費を必要とし、かつ長期間にわたって利用できるものの財源に充てられます。



# 「一般会計歳出」

市財政は歳入一般財源が年々減少していることから、これに併せて歳出構造のスリム化を図るため歳出全般にわたる見直しを行っています。人件費、扶助費、公債費等の毎年経常的に支出される経費の縮減。また、現在の市の財政状況から考え、道路や公共施設の新増設に必要とされる経費である普通建設事業については、合併当初に策定した実施計画に搭載している事業であつても見直しを行っています。

今年度は大仙市総合計画2年目の年であり、「人が活きる人が集う夢のある田園交流都市」の実現に向けて、新規施策や継続事業に予算を重点的に配分しました。また、地域の特色、独自性を生かしつつ大仙市の早期の一体性を確立できるように努力してまいります。



## 財政用語

### 【目的別歳出】

地方公共団体が行う事業を目的別に分類するもので、行政サービスの水準や行政上の特色などを知ることができます。

▼議会費：議会運営のための経費です。

▼総務費：行政全般の事務などに関する経費です。

▼民生費：障害者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費です。

▼衛生費：環境保全、疾病予防、健康増進などの経費です。

▼農林水産業費：農林業振興のための支援や生産基盤整備などの経費です。

▼商工費：商工業や観光の振興のための経費です。

▼土木費：道路や河川、公園、施設建設など社会資本整備のための経費です。

▼教育費：学校教育・生涯学習の充実、文化・スポーツ振興などの経費です。

▼公債費：事業を行うために借りたお金（市債）の元金・利子や一時借入金の子を支払うための経費です。

▼災害復旧費：災害で被災した施設などを復旧するための経費です。

▼諸支出金：他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目です。各種基金への積立金、土地取得費等があります。

▼予備費：予算編成の際、予期しなかった支出に対応するための科目です。

### 【性質別歳出】

地方公共団体の経費を性質別に分類するもので、義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分できます。義務的経費は、人件費、扶助費、公債費で、支出が義務づけられている経費です。投資的経費は、道路や公共施設の建設といった行政水準の向上にかかる経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費から構成されます。

▼人件費：議員報酬、職員給与などです。

▼扶助費：社会保障制度の一環として、高齢者、児童、心身障害者などに対して行う支援のための経費です。



【コラム3】  
なぜ借金をするのか？

市債の秘密

— COLUMN —

借金は悪いこと？

市の借金である「市債」は、公共施設の建設費など多額のお金が必要なときに利用します。

また、返済額の一部については、地方交付税に算入される有利なものもあります。

わたしたちが家や車を買うとき、借金をすることがあります。でも、もし即金で買えたら、わざわざ借金をするのでしょうか。借金をすれば、利子を払わなくてはなりません。でも、市では、公共施設を「借金」で作ることがあります。なぜならば、それが公平に税金を使うための方法だからです。

たとえば、今、公共の建物を建てようと計画します。そして、その建物は20年使えるとします。

すると今の市民から20年後の市民まで、ずっと施設を使うことになります。

ところが「即金」で建物を建てたとしたらどうでしょう。今の市民がその費用を全額負担することになります。その後、市民となった方は負担なしで使用することになり、今の市民の負担だけが重くなり不公平になります。

そこで、20年の間、市民が平等に建設費を分け合って負担するようにしているのです。

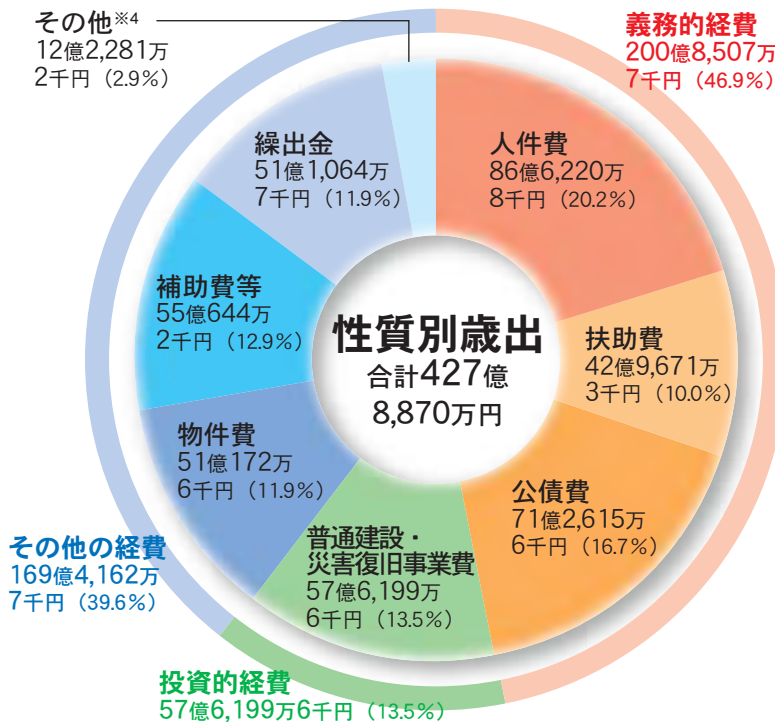
つまり、税負担の公平性を保つために、ある特定の世代だけに負担させないために「借金」をします。

しかし、財政を圧迫する「借金」をいくらでもしていいわけではなく、市では長期計画を立て、事業を厳選して「借金」をしています。「借金＝悪」ではなく、バランスが大事ということになります。

【性質別歳出のその他】 ※4の内訳

項目	予算額	構成比
維持補修費	1億6,678万0千円	0.4%
貸付金	5億6,208万1千円	1.3%
投・出資金	1万0千円	0.0%
積立金	4億4,194万1千円	1.0%
予備費	5,200万0千円	0.1%

※目的別歳出と性質別歳出の「予備費」の額が異なりますが、給食事業特別会計に対する繰出金の一部が性質別歳出では予備費として扱われるためです。



- ▼公債費：市の借金などを償還するための経費です。
- ▼普通建設事業費：道路や公共施設の新増設に必要とされる経費です。
- ▼災害復旧事業費：災害で被災した施設などを復旧するための経費です。
- ▼物件費：賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費です。
- ▼補助費等：市から他の団体などに対して行政上の目的から支払う経費です。
- ▼報償費（講師謝金等）、役務費（保険料等）、負担金・補助金及び交付金（助成金等）などが該当します。
- ▼繰出金：一般会計、特別会計、基金との間で、相互に資金運用をするための経費です。
- ▼維持補修費：道路や公共施設などを管理するために必要な経費です。
- ▼貸付金：地域住民の福祉増進や地域の振興を図るため、市が直接あるいは間接的に現金の貸付を行うための経費です。
- ▼投・出資金：財産を有利に運用するための国債などの取得や、公益上の必要性による会社の株式の所得などに要する経費です。
- ▼積立金：財政運営を画的に実施するため財源変動に備えて積立てる経費です。

【コラム4】  
市の予算を家計簿に  
たとえると  
家計簿で見る予算  
- COLUMN -

市の予算は「億」単位で数字が大きすぎて実感がわきません。

そこで市の予算を年収700万円の家庭に当てはめてみました。  
(年収700万は、総務省統計局で発表している「秋田県の1世帯当たり年間収入」である697万円を参考)

市の予算にはいろんな種類の歳入や歳出があり、普通の家庭とはちょっと違った内容になっています。  
例えば、「食費」は必要経費として人件費を当てるなど、一般家庭の家計簿に当てはめました。

一つの目安として参考にしてください。

(収入)

家族全員で稼いだお金 (市税・使用料・手数料・諸収入などの自主財源)	192万
両親からの仕送り (地方譲与税・地方交付税・国県支出金など)	424万
銀行からの借り入れ (市債)	84万
合 計	700万

(支出)

食 費 (人件費)	142万
医療・教育費 (扶助費)	70万
ローン返済 (公債費)	117万
光熱水費・通信費・日用品の購入など (物件費など)	103万
子どもの小遣い・保険料・税金・町内会費など (補助費等)	90万
家の増改築・修繕など (普通建設事業費など)	94万
子どもへの仕送り (繰出金)	84万
合 計	700万

衛生費



48,329円

民生費



105,062円

総務費



51,916円

議会費



3,200円

土木費



49,645円

商工費



12,060円

農林水産業費



29,643円

労働費



1,702円

その他



1,762円

公債費



69,731円

教育費



65,050円

消防費



16,326円

【コラム5】  
予算を人口数で考える  
一人当たりの予算  
- COLUMN -

8ページの目的別歳出を基に、平成19年3月31日現在の住民基本台帳に記載される人口9万4,160人で「市民一人当たりの予算額」を算出しました。福祉への経費である「民生費」に一番多く使われています。

# 「主な事業説明」

限られた財源の中で  
事務事業の規模や必要性、優先順位等  
について配慮された平成19年度予算  
主な事業内容について紹介します



# 第1節 健康福祉

安心して健やかに暮らせるまちづくりを進めます

※予算額の次の( )書きは、予算財源を表わしています。  
例えば、市の予算100%の事業は「(市単独)」と表記しています。

## ■保健・医療の充実

### すこやか子育て手当支給事業費

【児童家庭課】 1億4,257万円(市、県)

すこやか子育て手当金を支給することにより子どもを産み育てやすい環境を整えるとともに、経済的負担の軽減を図ります。

#### 事業内容

満2歳未満の子どもを養育し、かつ、福祉医療費受給者証を有する者の保護者に対し月額1万円を支給  
県が定めた所得基準を緩和した、市独自の所得基準を設け実施



次代を担う子どもたちを産み育てやすい環境を整えます。

### 母子保健推進費

【健康増進センター】 4,142万5千円(市、県)

妊婦健康診査を継続実施し、安心して妊娠・出産できる環境づくりに努め、少子化対策を図ります。

#### 事業内容

- 出産までのすべての妊婦健診を無料実施
- ①妊婦健康診査(13回実施)／超音波検査、感染症検査
  - ②妊婦歯科健診(1回実施)
  - ③母子手帳交付／妊婦が希望する各地域の健康増進センターで交付可能
  - ④パパママ教室／新たに親になる方々を対象にした講座で、4講座3クールとし、今年度は本の読み聞かせを新たに導入
  - ⑤出産前後小児保健指導／産婦人科医と小児科医が連携して、妊婦やその家族に育児相談を行い、育児不安の解消等に努める
  - ⑥乳幼児健康相談
  - ⑦離乳食教室／5カ月児を対象に離乳食に関する教室を実施
  - ⑧未熟児及び低体重児訪問指導事業

### 健康づくり推進事業費

【健康増進センター】 1,186万4千円(市単独)

急速な高齢化や疾病構造の変化する中、健康増進法に基づき健康の増進に関して基本的な事項を定めます。また、栄養の改善・運動等により市民の健康の向上を目指します。

#### 事業内容

- ①食による健康づくり／栄養教室・講習
- ②運動による健康づくり
- ③生活習慣の改善による健康づくり
- ④心の健康づくり
- ⑤フッ素洗口事業(新規)／むし歯予防のため、市内幼稚園と保育所の5歳児、小学生を対象にフッ素洗口を実施
- ⑥健康づくり講演会
- ⑦健康カレンダー全戸の配布

健(検)診等の日程が記載されたカレンダーを全戸配布しています。



## ■子育て支援の充実

### 医療給付扶助費(拡大分)

【国保年金課】 1億4,995万5千円(市単独)

子育て支援として医療費助成を行い、子どもを生み育てやすい環境を整え、少子化対策に取り組みます。

#### 事業内容

- ①県と共同で実施している医療費助成に、市の独自拡大分として年齢を県の6歳から小学校卒業までに拡大実施。また、県制度では一部負担(1レセプト1千円負担)に対し市では全額助成。さらに、所得制限については、県制度より所得制限基準額を引き上げ、小学生についてもこの所得基準で実施
- ②20歳までの国で指定した小児慢性特定疾患者および特定疾患者の当該疾病にかかる自己負担額を助成

## ■高齢者福祉の充実

### 介護サービス事業(市単独事業)

【援護福祉課】 8,059万8千円(市単独)

要援護高齢者及び一人暮らし高齢者ならびにその家族等の総合的な保健福祉の向上を図ります。

#### 事業内容

- ①寝具類乾燥消毒サービス事業
- ②軽度生活援助事業
- ③緊急通報体制等整備事業
- ④家族介護者ヘルパー受講支援事業
- ⑤配食サービス事業
- ⑥外出支援サービス事業
- ⑦介護予防デイサービス事業
- ⑧高齢者等相談支援事業
- ⑨生きがい活動支援通所事業
- ⑩家族介護用品支給事業
- ⑪家族介護慰労金支給事業
- ⑫福祉用具利用継続支援事業(新規)

### 敬老の日事業費

【援護福祉課】 4,750万4千円(市単独)

地域性を生かしながら、身近な方々で高齢者の長寿を祝い、長寿高齢者をお祝いしながら福祉の増進を図ります。

#### 事業内容

- ①敬老会／76歳以上対象で各地域(地区)の実行委員会に委託し実施
- ②長寿祝金／年度内88歳の方は敬老会時に長寿祝金2万円、年度内100歳の方は誕生日に長寿祝金50万円を支給

地域の特性を生かした敬老会を実施します。



## ■社会福祉の充実

### 障害者福祉サービス利用者等支援事業費

【援護福祉課】 1,249万2千円(市単独)

自立支援法の施行による施設サービス利用者の負担額が原則1割負担となったことから、利用者の自己負担額を緩和するため、市単独事業で軽減策を実施します。

なお、居宅サービス利用者の軽減については国で制度化しています。

#### 事業内容

施設サービスの月額負担上限額を半額に軽減

- ①低所得者1：15,000円 → 7,500円
- ②低所得者2：24,600円 → 12,300円

障害のある方  
にでもやさしい  
まちづくり  
を進めます。



### 父子手当支給事業費

【児童家庭課】 720万円(市単独)

父子家庭で児童を養育している父に対して父子手当を支給し、その家庭の経済的負担を軽減し児童の福祉を図ります。

現行制度の児童一人当たり年額1万円から、月額5,000円(12カ月で6万円)に拡充します。

#### 事業内容

義務教育修了前(0歳～15歳)までの児童を扶養している父に月額5千円を支給  
(児童扶養手当と同じ所得制限あり)



父子家庭の経済的負担を軽減します。

※予算額の次の（ ）書きは、予算財源を表わしています。  
例えば、市の予算 100%の事業は「(市単独)」と表記しています。

### ■学校教育の充実

#### 学習活動支援事業費

【学校教育課】 1,513万3千円(市、県)

多様な学習活動に対して支援します。

#### 事業内容

- ①情報学習支援員(5人)／児童生徒及び教職員のパソコン技能の一層の向上と情報学習の環境を整えるなどの支援
- ②複式学級支援員(3人)／少子化に伴う複式学級に対応
- ③日本語指導支援員(2人)／転入による外国籍児童生徒の日本語指導

#### 学習定着度調査事業費

【学校教育課】 189万4千円(市単独)

小学校4年生から中学校2年生までの各教科(国語、社会、算数・数学、理科、英語)の学習の定着状況を継続的に把握し、児童・生徒の学力の定着・向上を図ります。

#### 事業内容

- ①実施時期／12月中旬(統一日)
- ②調査対象学年及び教科／  
小学4年生(国語、算数、理科)  
小学5、6年生(国語、社会、算数、理科)  
中学1、2年生(国語、社会、数学、理科、英語)
- ③調査結果の分析し今後の指導に活用



確かな学力を身に付け、家庭、地域、学校が連携しながらの教育活動を行います。

#### 統合小学校建築事業費

【施設管理課】 8億8,700万7千円(市、国)

協和地域の6小学校を統合し「協和小学校」を平成20年4月に開校します。複式学級などを解消し、集団の中で「生きる力」を育むことができる教育環境の整備を図ります。

#### 事業内容

- ①事業年度／平成17～20年度
- ②建設場所／協和境字岸館37  
(現荒川小学校敷地)
- ③構造面積／校舎：RC2階建4,596㎡、屋内体育館：RS平屋建1,331㎡、25メートルプール、サブプール、屋外運動場
- ④協和小学校の基本概念／  
1. 学校統合のメリットを生かす学校づくり  
2. 地域とともにある開かれた学校づくり  
3. 自ら学ぶ環境づくり  
4. 安全でやさしい学校づくり



平成20年4月開校予定の協和小学校(完成予想図)。

#### 学校生活支援事業費

【学校教育課】 5,002万5千円(市、県)

学校生活支援員が学級担任とのチームティーチング、個別指導を行うことによって児童生徒の障害の状況に応じた指導と援助を行います。

#### 事業内容

児童生徒の個々の障害の状況に応じたきめ細やかな指導支援が不可欠なため、昨年の28人から33人に増員して支援



## ■芸術、文化の振興

### 秋田わか杉国体関連文化財公開事業費

【文化財保護課】 60万円(市単独)

国体の開催期間に合わせて大仙市内の貴重な文化財を公開する機会を設け、大仙市をピーアールします。

#### 公開文化財・公開日

- ①市指定文化財「法隆寺金堂壁画模写」・期間中
- ②国宝「線刻千手観音等鏡像」・10月1日
- ③国指定名勝「池田氏庭園」・9月30日
- ④国指定史跡「払田柵跡」・期間中
- ⑤国重要文化財「古四王神社」・期間中



国体開催に合わせ大仙市の文化財を公開します。  
(写真上/秋の池田氏庭園、下/古四王神社)



## ■世界平和の希求

### 非核平和都市宣言経費

【総合政策課】 50万9千円(市単独)

平和と命の尊さ、戦争の恐ろしさについて考え、語り合う機会を設け、平和を願う精神を後世へ受け継ぎます。

#### 事業内容

- ①平和レポーター派遣事業/  
市内在住の中高生を対象に広島での現地学習
- ②戦争と平和に関する映画上映会

## ■生涯学習の推進

### 芸術文化振興費

【生涯学習課】 120万円(市単独)

地域文化である民謡の出前を行うことで、広範にわたる娯楽を通し生きがいの機会を提供します。

#### 事業内容

市内民謡団体による歌、踊り等を各地域の生涯学習施設で披露(入場無料)



各地域の生涯学習施設で民謡の出前公演を行います。  
みなさんご覧ください。

### 放課後子ども教室推進事業費

【生涯学習課】 312万2千円(市、県)

地域の方々の参画のもと、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して子どもたちとともに勉強やスポーツ文化活動、地域住民との交流活動を実施します。

#### 事業内容

- ①放課後体験教室  
(昔語り、紙芝居、朗読、読み聞かせ)
- ②放課後囲碁教室
- ③週末体験教室  
(国際理解、芸術体験、科学体験、スポーツ体験)
- ④のびのびらんど花火通り委託事業  
(安全安心な居場所、囲碁・将棋・百人一首・読み聞かせ等)
- ⑤仙北地域子ども教室実行委員会委託事業
- ⑥安全安心な自由なあそび場の提供
- ⑦文化体験、科学体験、創作体験、スポーツ体験等

※予算額の次の（ ）書きは、予算財源を表わしています。  
例えば、市の予算100%の事業は「(市単独)」と表記しています。

## ■農林水産業の振興

**目指せ“元気な担い手”農業夢プラン応援事業費**  
【農林振興課】 1億601万円(市、県ほか)

複合経営への転換による体質の強い農業経営の確立や発展性の強い農業構造を確立し、今年産から始まる品目横断的経営安定対策の対象となる担い手の育成確保を図ります。

### 事業内容

秋田県の「目指せ“元気な担い手”農業夢プラン応援事業」に基づき、農業用機械・施設等の経費に対し市が協調助成し、地域農業の担い手の育成を図る

**農地・水・環境保全向上対策事業費**  
【農林振興課】 1億148万2千円(市単独)

地域に存する農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図ります。

### 事業内容

本事業は農業及び農村の基盤となる農地・水などの環境資源を農業者だけではなく、地域住民など多様な主体が参画し、農村環境の保全を図る

**県営土地改良事業費負担金**  
【農林振興課】 3億8,305万7千円  
(市、国、県、受益者負担金)

市及び土地改良区が負担団体として採択を得た県営土地改良事業に対し、ガイドラインに従い事業費の一部を負担します。

### 事業内容

- ① 県営ほ場整備事業
- ② ふるさと農道整備事業
- ③ 老朽ため池整備事業
- ④ 県営かんがい排水事業
- ⑤ 生態系保全連携事業
- ⑥ 小規模公害防除対策事業
- ⑦ 一般(広域関連)農道整備事業
- ⑧ 防災ダム事業

**集落営農法人化推進事業費**  
【農林振興課】 1,562万4千円(市単独)

今年産から始まる品目横断的経営安定対策の対象となる担い手を育成確保し、農業経営の改善と技術指導を行い農業所得の向上を図ります。

### 事業内容

- ① 大仙市集落営農・法人化支援センターによる集落営農の育成・法人化の指導
- ② 担い手育成確保
- ③ 集落営農及び農業法人設立支援
- ④ 担い手に対する経理・税務・技術指導を実施
- ⑤ 設立組織及び設立に向けた集落に対する先進地研修等



私たちが支援に協力します。市集落営農・法人化支援センターの専門指導員。

**大仙市農業後継者育成修学資金貸付金**  
【農林振興課】 144万円(市単独)

農業技術と経営能力の向上を図るため、農業後継者を育成します。

### 事業内容

市内に居住し農業を営む方の子どもで、大学、短大等で農学を専攻するなどの条件を満たす方に月額4万円を貸与(無利子)。卒業後すぐに市内で農業に従事し、7年間農業を専業とした場合は返還を免除



主要産業である「農業」の後継者を育てます。

## ■雇用の安定、就労の促進

### 大仙市雇用助成金

【商工観光課】 750万円(市単独)

本市における新規雇用に対して助成金を交付することで雇用機会の拡大を図り、若年層の地域定住を促進します。

#### 事業内容

##### 【助成対象】

- ①市内の誘致企業および中小企業者
- ②会社法に規定する会計ならびに個人事業者等であること
- ③当該新規雇用の期日前6カ月に会社都合による離職者がいないこと

##### 【助成金の対象となる被雇用者の要件】

- ①45歳未満で、雇用された日から継続して1年以上大仙市に居住し、雇用された日から継続して1年以上当該会社に勤務
- ②常用雇用(雇用保険の被保険者)として雇用
- ③平成17年3月22日から平成19年3月31日までの新規雇用者



## ■商業の振興

### 地域商店等活性化支援事業費補助金

【商工観光課】 150万円(市単独)

地域商店と消費者との交流関係を保ち、消費者の利便性や購買意欲を向上させる事業を行う商店等のグループに対し補助金を交付します。

#### 事業内容

- ①市内の30店舗以上の地域商店で構成する商店グループで目的に合致する補助対象経費の総額30万円以上の事業に補助(大曲の中心市街地を除く)
- ②補助金の額/  
補助対象経費の2分の1以内で限度額30万円
- ③補助対象経費/  
賃金、報償費、共済費、旅費、需用費(消耗品・印刷製本費)、役務費(手数料・検査料・保険料・広告料)、借上料、仮設工事費、原材料

## ■観光の振興

### 特産品流通化事業費

【商工観光課】 88万2千円(市単独)

大仙市の知名度を向上させ、特産・物産品の販路拡大を図ります。

#### 事業内容

- ①災害時相互応援協定や物産交流を図っている神奈川県座間市で毎年11月に行われている、座間市民ふるさとまつりにおける、大仙市の観光PRと物産品の販売
- ②県内で行われる物産展イベントに参画



※予算額の次の（ ）書きは、予算財源を表わしています。  
例えば、市の予算 100%の事業は「(市単独)」と表記しています。

### 道路新設改良費

【道路河川課】 4億5,081万7千円(市単独)

市民が日常的に利用する生活道路について、利便性に加え歩行者や自転車利用者にとって安全性・快適性が確保できるよう整備します。

#### 事業内容

大曲地域	27 路線
神岡地域	1 路線
西仙北地域	4 路線
中仙地域	15 路線
協和地域	6 路線
南外地域	3 路線
仙北地域	2 路線
太田地域	3 路線

### ■公共交通の整備

#### 地域交通対策検討経費、地域交通運行事業費

【総合計画課】 2,598万円(市、県)

交通弱者とされる高齢者、障害者等の交通手段の確保や公共交通空白地域において実施している乗合タクシーやシャトルバス等を参考に、新たな交通システムの検討を行います。

#### 事業内容

- ①新たな交通システムの検討作業
- ②地域公共交通会議の開催
- ③大曲地域の市内循環バス運行
- ④大曲地域の乗合タクシー(試験運行)
- ⑤中仙地域の乗合自動車の運行
- ⑥太田地域のシルバーシャトルバスの運行



大曲地域の商店街や医療機関等を回る循環バス。

### ■道路の整備

#### 道路維持管理費

【道路河川課】 2億3,223万6千円(市単独)

供用されている市道について、老朽化による損傷箇所について、随時、修繕や補修を行いながら、通行の安全を図ります。

#### 事業内容

道路維持管理費については、当該年度全体額を市道実延長や規格改良済延長、除雪延長などを考慮し、各総合支所へ予算配分

#### 地方道路交付金事業費

【道路河川課】 (市45%、国55%)

国が創設した地方道路整備臨時交付金制度を利用し、道路整備を図ります。

#### 事業内容・今年度事業費等

- ①黒森山線(西仙北地域) / 1億1,452万5千円  
全体延長1,500m、事業期間：平成16～22年度
- ②中仙4号線(中仙地域) / 1,950万円  
全体延長650m、事業期間：平成17～21年度
- ③古四王際飯詰線(大曲地域) / 4,829万円  
全体延長380m、事業期間：平成18～21年度
- ④耐震補強 / 1,500万円  
愛宕下・浮島跨線橋(西仙北地域)、合貝跨線橋(協和地域)、事業期間：平成19～20年度

#### 地方特定道路整備事業費

【道路河川課】 (市単独)

地域課題に応えるため、早急に整備を行う必要がある「地方特定道路」の整備を図ります。

#### 事業内容

- ①仙北45号線(仙北地域) / 4,550万円  
全体延長1,640m、事業期間平成15～19年度
- ②宮林線(大曲地域) / 5,000万円  
全体延長1,130m、事業期間平成18～22年度

## 大曲駅前第二地区土地区画整理事業費

【土地区画整理事務所】 (市、国、県)

市の中心市街地で商店街や住宅地域で構成されている駅前第二地区の地区特性を十分活用できるよう、早急な基盤整備を進めます。

### 事業内容

- ① 10億 1,300万円  
建物移転補償費等  
中通り道橋新設工事費負担金  
区画道路新設工事  
整地工事
- ② 1億 4,739万 5千円  
土地損失補償費  
用地費  
大花町県道関連工事  
中通線県道関連工事
- ③ 1,021万 9千円  
県道大曲田沢湖線切り回し工事

### 全体事業内容

施行地区面積：25.7ha  
施工期間：平成元～24年度



中心市街地としての特性を生かした整備が進む大曲駅前第二地区。

羽後境駅周辺のやすらぎある空間の創整備が進められます。



秋田新幹線駅としてふさわしい市街地整備が進められます。

## 市街地の整備

### まちづくり交付金事業費

【都市計画課】 (市、国)

国の制度であるまちづくり交付金事業を利用しは、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を生かした地域主導の個性あふれるまちづくりを進めます。

### 事業内容・全体事業内容

- ① 大曲駅周辺地区／1億 269万 1千円  
秋田新幹線駅としてふさわしい、大曲駅周辺地区の市街地の形成  
事業期間：平成 18～22 年度
- ② 神岡地区／2億 2,163万 8千円  
神宮駅、嶽雄館を核として、地域交流拠点の創造とコンパクトな町の特性を生かした良好な居住環境の形成  
事業期間：平成 16～20 年度
- ③ 神岡地区／104万 7千円  
テニスコートの備品購入
- ④ 中仙地域旧街道周辺地区／2億 6,480万円  
旧街道の街並み保存と交通結節点の整備改善による、観光振興を目的とした地域づくり  
事業期間：平成 16～20 年度
- ⑤ 羽後境駅周辺地区／1億 6,100万円  
羽後境駅周辺の交通機能の充実と自然環境を活用したやすらぎのある空間の創出  
事業期間：平成 17～21 年度



嶽雄館を核とした文教施設の整備が進む神岡地域。

旧街道の街並みを保存しつつ整備が進む中仙地域。



※予算額の次の（ ）書きは、予算財源を表わしています。  
例えば、市の予算 100%の事業は「(市単独)」と表記しています。

### ■上水道の整備

#### 簡易水道事業費

【総合支所建設課】 (市、国)

簡易水道事業により安全で安心な水を安定して供給します。

#### 事業内容

①大沢郷地区統合簡易水道事業／  
6,844万1千円

事業年度：平成14～29年度  
※施設整備事業は平成23年度まで  
【今年度実施】

実施設計業務委託、用地費、補償費、ダム負担金

②刈和野地区簡易水道施設整備事業／  
3億2,186万2千円

事業年度：平成14～29年度  
※施設整備事業は平成20年度まで  
【今年度実施】

実施設計業務委託、工事請負、ダム負担金

③水尺橋架替え工事に伴う配水管布設替事業／  
3,060万円

事業年度：今年度  
【今年度実施】

国土交通省による水尺橋架替え工事に伴う配水管布設替え

④入角地区簡易水道施設整備事業／  
2億6,980万円

事業年度：平成17～20年度  
【今年度実施】

浄水施設、配水施設の工事

⑤南外地区簡易水道施設整備事業／208万円

事業年度：平成13～29年度  
※施設整備事業は昨年度完了  
【今年度実施】

業務委託料、ダム負担金

⑥戸地谷地区統合簡易水道事業／  
2億7,000万円

事業年度：平成19～22年度  
【今年度実施】

全体調査測量・設計委託、配水管布設工事、用地取得

⑦仙北南地区簡易水道統合整備事業／  
2億4,996万7千円

事業年度：平成18～19年度  
【今年度実施】

実施設計業務委託、配水管布設工事、各戸給水管布設工事

#### 大仙市水道事業基本計画作成業務

【上水道課】 2,215万5千円(市単独)

市内全域にわたる水道事業基本計画を策定し、生活用水に不安を抱えた地域及び未普及地域解消のため、給水区域の拡大を図ります。

#### 事業内容

- ①基本計画区域／大仙市全域
- ②計画目標年次／平成18～38年度
- ③業務内容／基本方針策定、基本事項の決定、整備内容の決定、基本計画とりまとめ



生活に不可欠な水の安定供給に努めます。

#### 大曲橋架け替えに伴う実施設計業務

【上水道課】 3,469万8千円(市、県)

県の事業である大曲橋の架け替え計画に伴い、取水施設を含めた金谷ポンプ場の移設に係る詳細設計業務を委託します。

#### 事業内容

- ①大曲橋架け替えに伴う取水・導水施設実施設計業務委託
- ②大曲橋架け替えに伴う建築実施設計業務委託



架け替えの計画がある大曲橋(通称：金谷橋)。



### 特定地域生活排水処理事業費

【下水道課】 2,787万円(市、国)

公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外において、公衆衛生の向上及び良好な生活環境の確保や公共水域の水質保全を図ります。合併処理浄化槽の普及率は、平成17年度末現在10.8%で、平成22年度末に11.8%を目標とします。

#### 事業内容

- ①西仙北地域／25基
- ②協和地域／5基

### 農業集落排水事業費

【下水道課】 (市、国、県)

農業用水の水質保全と農村地域の生活環境の向上のため、農業集落排水処理施設の整備を進めます。

#### 事業内容

- ①(補助分)／15億1,378万円  
【処理施設工】土木工事(協和地域峰吉川地区)、建築工事(中仙地域田ノ尻地区、協和地域沢庄地区)、機械工事(中仙地域田ノ尻地区、協和地域沢庄地区)、電気工事(中仙地域田ノ尻地区、協和地域沢庄地区)、場内整備(大曲地域 大曲西部地区、太田地域 太田今泉地区)  
【管路施設工】管路延長9,596m、中継ポンプ31カ所、雨水排水650m
- ②(単独分)／1億6,238万2千円  
管路延長1,808m

### 浄化槽設置整備事業費補助金

【下水道課】 1億54万2千円(市、国、県)

公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外において、合併処理浄化槽を設置する場合に、その設置費用の一部を補助します。

#### 事業内容

- 5人槽／60基、7人槽／141基、10人槽／4基

## ■下水道の整備

### 公共下水道事業費

【下水道課】 (市、国)

下水道整備を進め健康で快適な社会環境を確保し、明るく豊かな市民生活の実現を図ります。公共下水道(公共下水道・特定環境保全公共下水道)の普及率は、平成18年度末現在29.0%で、平成22年度末に38.9%を目標としています。

#### 事業内容・全体事業内容等

- ①(補助分)／6億1,200万円  
【大曲地域】管渠工事1,647m、実施設計  
【神岡地域】管渠工事1,280m、実施設計  
【西仙北地域】管渠工事319m、処理施設増設工事、実施設計
- ②(単独分)／1億9,000万円  
【大曲地域】管渠工事1,252m、実施設計  
【神岡地域】管渠工事430m、実施設計  
(18年末の全体計画処理面積・人口計画)  
【大曲地域】1,134ha、26,200人  
【神岡地域】270ha、4,200人  
【西仙北地域】156ha、3,100人

### 特定環境保全公共下水道事業費

【下水道課】 (市、国)

市街化区域以外において下水道整備を進めます。

#### 事業内容・全体事業内容等

- ①(補助分)／1億6,800万円  
【中仙地域】管渠工事1,200m、実施設計  
【南外地域】管渠工事100m、県代行負担金、実施設計
- ②(単独分)／7,466万3千円  
【中仙地域】管渠工事320m、実施設計  
【南外地域】管渠工事140m、県代行負担金、実施設計  
(18年末の計画全体計画処理面積・人口)  
【西仙北地域】30ha、800人  
【中仙地域】450ha、7,200人  
【協和地域】102ha、2,400人  
【南外地域】76ha、2,000人  
【仙北地域】130.5ha、1,960人

※予算額の次の（ ）書きは、予算財源を表わしています。  
例えば、市の予算 100%の事業は「(市単独)」と表記しています。

### 協和カントリーパーク事業費

【協和総合支所地域振興課】 (市、国)

自然を生かした体験と健康づくりの場や、やすらぎの空間として子どもから高齢者までが集える生涯学習の拠点整備を図ります。

#### 事業内容

- ① 3,884 万 1 千円  
グラウンドゴルフ場修景施設工事
- ② 370 万 1 千円  
遺跡・陶芸の里土置場建築工事、グラウンドゴルフ用備品購入、公園管理用備品購入、カントリーパーク案内看板設置

#### 公園概要等

グラウンドゴルフ場、四季の草花エリア、桜の杜、駐車場など  
全体計画面積 / 4.3ha



隣接する道の駅「協和」と一体となって整備が進められる協和カントリーパーク。

### 雄物川河川緑地運動公園整備事業費

【都市計画課】 600 万円(市単独)

スポーツ・レクリエーション施設と花火会場との共生による、一大イベント会場の創出を図ります。

#### 事業内容

園路の整備

全国花火競技大会では毎年たくさんの観衆で埋め尽くされる雄物川河川緑地運動公園。



### ■公園・緑地の整備

### 総合公園事業費

【都市計画課】 3,881 万 5 千円(市、国)

既存の県立農業科学館やファミリースキー場ならびにキャンプ場などと一体となり、スポーツ・レクリエーションや文化・教養などの複合的施設としての公園整備を図ります。

#### 事業内容

交流ゾーン整備工事および電気設備工事

#### 公園概要等

エントランスゾーン、ファミリーゾーン、スポーツゾーン、交流ゾーン、林間ゾーン、水辺ゾーンからなる  
全体計画面積 / 40.3ha



隣接する施設と一体となった整備が進む総合公園。

### 仙北ふれあい公園事業費

【仙北総合支所建設課】 2,931 万円(市、国)

スポーツ施設と既存の文化施設を併せ持った公園として整備を進め、市民の憩いの場となる総合的な公園を整備する。

#### 事業内容

第 2、3 駐車場を下層路盤まで整備

#### 公園概要等

野球場、体育館、健康広場、ゲートボール場(屋内含む)、テニスコート、仙北ふれあい文化センターなど  
全体面積 / 7.4ha、事業期間 / 平成 16 ~ 22 年度

スポーツと文化施設を併せ持つ仙北ふれあい公園。



## ■ 衛生環境の整備

### ごみ収集関係費

【環境課】 1億5,861万円(市単独)

大仙市内の環境保全を推進しごみの収集体制の統一を図り、市民へのサービスの提供を均等にするとともに、収集作業時の事故防止対策を図ります。

#### 事業内容

- ①中仙地域を除き収集体制を統一  
(中仙地域は平成20年度から)
- ②収集回数／  
可燃ごみ：週2回  
不燃ごみ：月1回  
ビン・缶：月2回  
ペットボトル：月1回  
古紙類：月1回

## ■ 生活の安全、安心

### 交通安全対策費補助金

【消防安全課】 162万円(市単独)

チャイルドシート購入者に対し、チャイルドシート購入費補助金を交付します。

#### 事業内容

- チャイルドシート1台につき購入費用の2分の1の額で10,000円を限度として補助(対象乳幼児1人にチャイルドシート1台限り)

### 消防団組織活性化対策事業費

【消防安全課】 21万円(市単独)

全国的に減少している消防団員の確保のために、消防団活動に理解と協力を示している事業所に表示証を交付するなど、組織の活性化を図ります。

#### 事業内容

- ①「消防団協力事業所」の表示制度
- ②消防団員入団促進

### 飯田沼つり公園整備事業費

【都市計画課】 650万円(市単独)

市街地に隣接した自然豊かな環境を活用し、市民の身近な憩いの場としてサービス機能を強化します。計画段階から市民の参加を募り、施設の維持管理や運用面についても積極的に市民の参加を推進します。

#### 事業内容

土留め工事

#### 公園概要等

あずまや、橋など

公園面積／1.3ha



5月には子どもつり大会が開催されるつり公園。休日にはたくさんの方々が訪れます。

### 南外ふれあいパーク事業費

【南外総合支所建設課】 1,926万8千円(市単独)

自然豊かな環境を活用し、体育施設を兼ね備えた市民の身近な憩いの場の整備を図ります。

#### 事業内容

池外周安全柵設置工事

#### 公園概要等

体育館、大型遊具、あずまや、グラウンドゴルフ場(24ホール)、ゲートボール場、テニスコートなど

公園面積／11ha



四季を通じて楽しむことができます。



仲間とふれあいともに活躍できるまちづくりを進めます

※予算額の次の（ ）書きは、予算財源を表わしています。  
例えば、市の予算 100%の事業は「(市単独)」と表記しています。

## ■男女共同参画社会の形成

### 男女共同参画推進経費

【男女共同参画室】 (市単独)

市民や企業における男女共同参画の意識を喚起し、家庭や地域、職場における男女共同参画の推進を図ります。

#### 事業内容

- ①市民フォーラムの開催／25万9千円
- ②事業所アンケート調査／23万8千円
- ③ドメスティック・バイオレンス防止活動経費／20万円



男女共同参画社会の実現を目指します。

## ■国際交流の促進

### 韓国青少年ツアー受入事業費

【総合政策課】 184万6千円(市単独)

韓国の青少年を、冬は協和スキー場や協和温泉「四季の湯」を中心に、夏場は市内第3セクター施設等を中心に受け入れます。市の資源を活用した国際交流をすすめ、市内経済の活性化を図り、市民との交流も実施し市民の国際交流に対する興味や関心を醸成します。

#### 事業内容

- ①受入体制の整備／韓国語講座、韓国料理講座、通訳の確保
- ②PR活動の実施



今年1月に協和地域で行われた韓国の青少年との交流会。

## ■地域情報・交流

### 移動通信用鉄塔施設整備事業費

【情報システム課】 3億9,097万8千円  
(市、県、通信事業者)

携帯電話の不感地域を解消し、地域間の情報通信格差是正を図ります。

#### 事業内容

移動通信用鉄塔、通信設備の設置(協和牛沢又地区、南外滝地区、南外西ノ又地区、南外荒又地区)

### 高速インターネットアクセス網整備促進事業費

【情報システム課】 1,357万3千円(市1/2、県1/2)

高速インターネット(ADSL)のサービス未提供地区におけるブロードバンド化の促進と、地域の情報通信格差是正のため、必要な機器を整備する通信事業者に補助します。

#### 事業内容

- ①高速インターネットサービスに必要な装置の設置や局舎の改修費用に補助
- ②事業計画／今年度：協和荒川地区、中仙豊川地区、20年度：西仙北大沢郷地区、西仙北強首地区

### テレビ難視聴地域解消施設整備事業費

【情報システム課】 41万1千円(市単独)

地理的・地形的条件でテレビの電波を良好に受信できない難視聴地域を解消します。

#### 事業内容

秋田空港建設に伴いテレビ受信障害となっている協和上淀川地区において、地上デジタル放送対応のためのテレビ共同受信施設改修工事費に補助

# 第7節 計画の推進

※予算額の次の（ ）書きは、予算財源を表わしています。  
例えば、市の予算100%の事業は「(市単独)」と表記しています。

第1節 健康福祉

第2節 教育

第3節 産業・雇用

第4節 都市基盤

第5節 安全・安心

第6節 地域情報・交流

第7節 計画の推進

## 自治会育成支援事業費補助金

【総合政策課】 3,082万円(市単独)

市内自治会の組織化と住民主体による地域づくり、ならびに自主運営している自治会館等の維持管理経費の一部を補助することにより、自治会活動の推進を図ります。

### 事業内容

- ①自治会、町内会、集落会等の活動に補助金交付
- ②自治会館等の維持管理経費を補助金交付

## ゼロ予算事業

【全庁】

特別な事業予算を用いずに、既存の設備や人材を積極的に活用し、市民と行政が連携した事業に取り組みます。

### 事業内容

- 〈新たに取り組む事業〉
- ①大仙市まちづくり塾開催事業
  - ②市民向けパソコン基礎講習会事業
  - ③要援護者緊急除雪事業
  - ④ダブルハッピー事業／小規模校において、スクールバスや市のバスを利用して他校に移動して、合同で学習発表会や運動会を実施
  - ⑤県南地区職場研修事業
  - ⑥児童生徒創作作品展示事業
  - ⑦大仙読書チャレンジプラン
  - ⑧君も舞台スタッフ
  - ⑨こんなに広い私たちの大仙市事業／市内全域の主要施設を見学など
- 〈継続事業〉
- ①英語たいけん・チャレンジ広場／国際教養大を訪問し、英語体験
  - ②ゲストティーチャー紹介事業／昔あそびや和楽器演奏など、地域の達人を指導者としての体験学習
- 〈事務の効率化や職員資質向上を目指すもの〉
- ①総合支所における総合窓口の充実
  - ②大仙市役所地球温暖化対策実行計画の策定

## 行財政運営の効率化

### 電子入札システム整備事業

【契約検査課】 77万4千円(市単独)

電子入札システムを導入し、事務の簡素化や効率化、入札業者等の利便性を図ります。また、競争性の向上や不正行為の防止にも役立ちます。

### 事業内容

今年度10月から試行し、平成20年度の実施を目指す



秋田県のシステムを利用して、10月から試行を開始します。

### 地域振興事業費(地域枠)

【総合政策課】 4,500万円(市単独)

各地域自治区に設置された地域協議会との協働により、地域の抱えている課題の解消に向けて、市民と行政の協働のまちづくりを推進します。

### 事業内容

- ①地域ボランティアの育成
- ②地域住民との協働の事業(地域協議会で協議)
- ③道路や施設等の小破修繕等で緊急を要するもの(地域協議会で協議)など



大曲地域の丸子町1・2区町内会のみなさんは、地元児童館のグラウンド整地作業に汗を流しました。



太田地域では、地域ぐるみで花壇づくりを推進しています。学校花壇植え付け事業で花の苗を植える児童たち。

# 市町村財政比較分析表 (平成17年度普通会計決算)

## 大仙市の財政を類似団体と比較分析しました

他自治体と比較可能な指標を用いて、各市町村で分析しています。主な指標については次のとおりです。

※類似団体とは

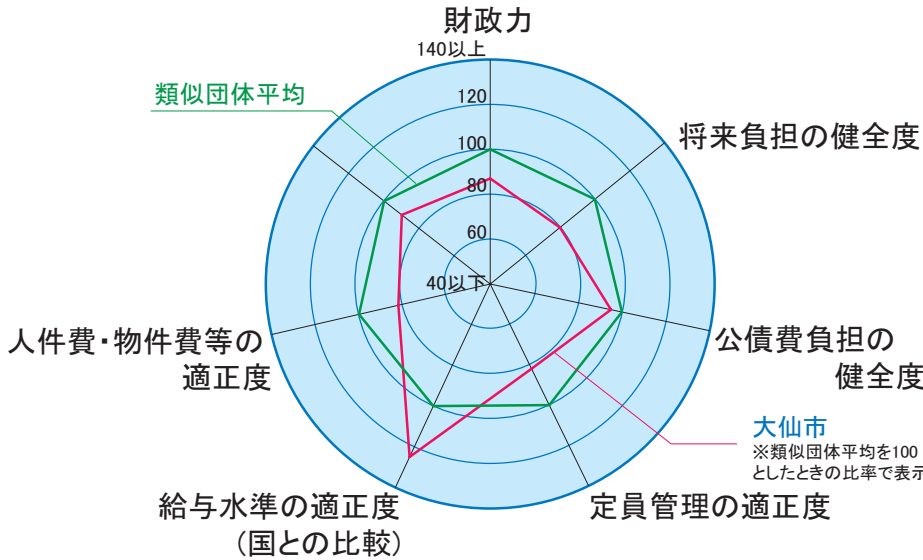
人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものです。

大仙市が分類されたグループには89の市が所属します。

( )内の数字は類似団体89市中の順位をあらわします。

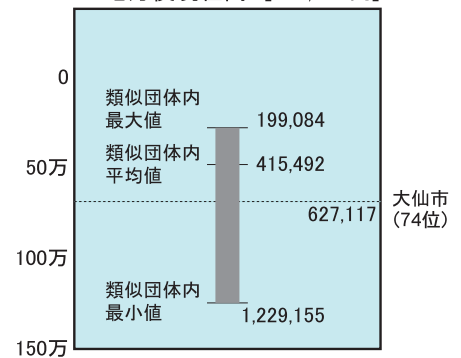
### 大仙市データ

人口 /	95,155 人
面積 /	866.68 Km <sup>2</sup>
歳入総額 /	505 億 9,481 万 8 千円
歳出総額 /	491 億 7,033 万 7 千円
実質収支 /	9 億 5,391 万 8 千円
(平成18年3月31日現在)	



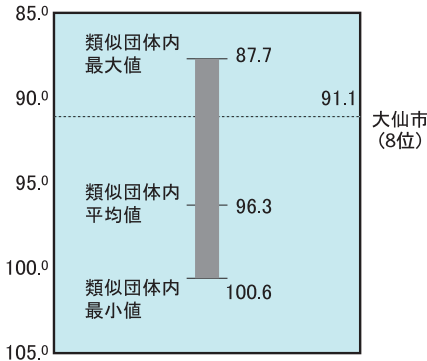
### 将来負担の健全度

人口1人当たり  
(円) 地方債現在高 [627,117円]



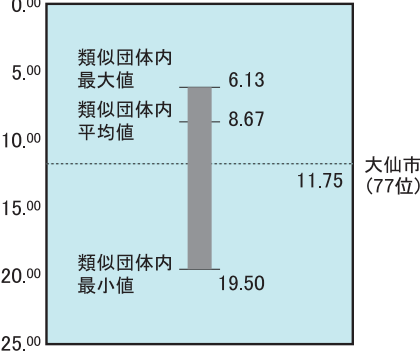
### 給与水準の適正度 (国との比較)

ラスパイルズ指数 [91.1]



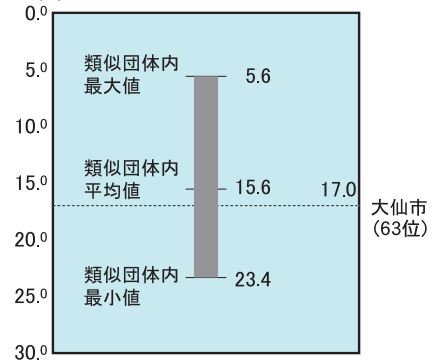
### 定員管理の適正度

人口1,000人当たり  
職員数 [11.75人]



### 公債費負担の健全度

(%) 実質公債費比率 [17.0%]



## ◆財政健全化に向けた今後の取り組み◆

地方分権や規制緩和の進展、また、国による三位一体改革及び地方交付税制度改革の取り組みなど、地方自治変革期の中で、市民のための行政運営確立を目指し、行財政運営の健全化を図らなければなりません。

大仙市では、今後もますます厳しくなる財政状況を踏まえ次の取り組みを行っていきます。

### 限られた財源の中で 地域の特徴、独自性を生せる 効率的、重点的財政運営

地域の特徴、独自性を生かしつつも、早期の一体性を図ることを踏まえて作成された「大仙市総合発展計画」を基本に、合併時に策定した「新市建設計画」に盛り込まれた各種事業についても見直しを図ります。

また、予算執行においても徹底したコスト削減を行い、限られた財源の中で地域の発展・活性化が図られるよう効率的、重点的財政運営に努めます。

### 公平かつ適正な受益者負担 自主財源の確保

公平かつ適正な受益者負担のために、保育園保育料、幼稚園使用料、簡易水道料、下水道料などの見直しを図ります。



## 財政指標の改善にむけて

### ○財政力指数

当市はもともと財政基盤が脆弱な市町村が合併したことに加え、人口の減少や高齢化、景気低迷による減収などから類似団体平均を大きく下回る0.33となっています。今後は徹底した歳出削減を図る一方、市役所内に収納対策推進チームを設置し市税及び税外収入の徴収強化を図るなど財政の健全化に努める必要があります。

### ○経常収支比率

前年度を4.2ポイント下回る94.2%となりましたが、主な要因としては普通交付税の増に伴う経常一般財源の増、合併による議員及び特別職の減による人件費の減、各公共施設の維持補修費の減などに伴う経常経費の減などが上げられます。

しかしながら、依然として類似団体及び県内平均を上回る高い水準にあるため今後の財政の硬直化が懸念されることから、一層の経費節減や自主財源の確保に努め、比率の改善を図らなければなりません。

### ○人口1人当たり人件費・物件費等決算額

類似団体平均127,420円を大きく上回る170,741円となっていますが、要因としては定員管理の適正度にも表れているとおり、現状において職員数の適正化が図られていないことや、公共施設数が標準団体と比較して多いことから、これらにかかる維持管理経費が増大していることなどがあげられます。

今後は、職員採用の抑制や早期退職の勧奨を図り適正な職員数に近づけるとともに、コスト削減のため利用状況に沿った公共施設の整理・統廃合を検討するほか、現在市で運営している保育園・老人介護施設の法人化を推進し人件費及び物件費の抑制に努める必要があります。

### ○実質公債費比率

公債費については合併前の市町村において実施した事業に係る市債発行額が大きかったことから、元金償還が始まる来年度以降も増加すると考えられます。

比率については17年度単年度(16.8%)で見ると前年度より1.1ポイント下回っていますが、これは算定の分母となる普通交付税が前年を上回ったことによるもので、公債費の償還額自体は増加しており、今後普通交付税の削減などにより標準財政規模が年々減少することが予想される一方、公営企業を含めた起債償還額は増加すると見込まれることから、比率の悪化が懸念されます。

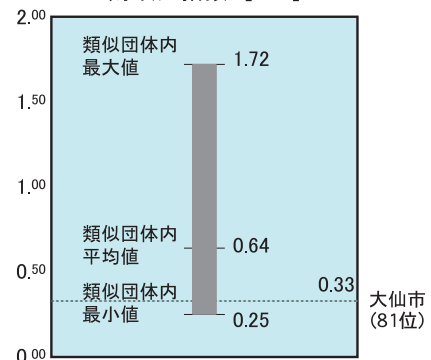
今後は、普通建設事業における事業費や実施年度の見直しを図り、各年度の市債発行額の抑制に努めなければなりません。

### ○人口1,000人当たり職員数

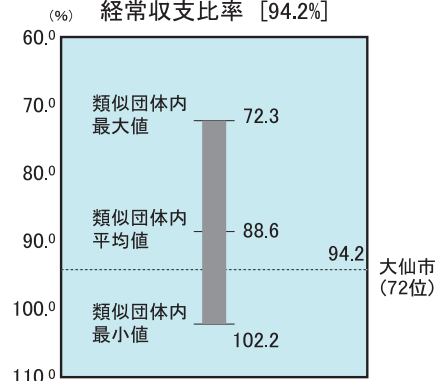
類似団体平均を3.08人上回る11.75人となっており、経常収支比率等の指標が高くなっている要因となっています。

今後、定員適正化計画に則り退職者補充に係る新規採用を極力抑え、17年度から22年までの5年間で134人(9.2%)の職員削減を図るとともに、定年前早期退職者を募り人件費の抑制に努める必要があります。

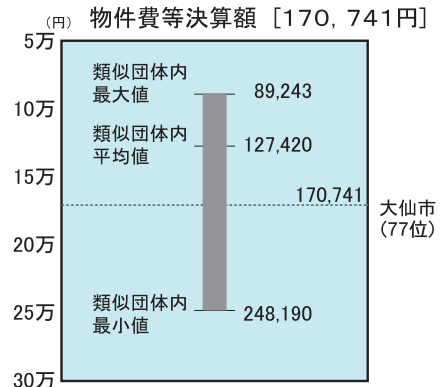
財政力  
財政力指数 [0.33]



財政構造の弾力性  
経常収支比率 [94.2%]



人件費・物件費等の適正度  
人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [170,741円]



また、市の資産を活用し広告収入を図るほか、市税、税外収入の徴収強化を図るため、市役所内に「収納対策推進チーム」を設置し、今まで以上に自主財源の確保に努めます。

**公共施設の今後のあり方を検討**

各公共施設については、利用率や老朽化等を勘案し、統廃合も視野に入れ、今後のあり方を検討していきます。

# おおきなせなかに

夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち



広報だいせんー予算特別号ー

「予算を読もう」

夢のある田園交流都市 大仙の創造を目指して

平成19年5月1日発行

編集発行／大仙市役所企画部秘書広報課

大仙市大曲花園町1番1号

☎ 0187(63)1111 代表